

II-1 訪日外国人の旅行動向

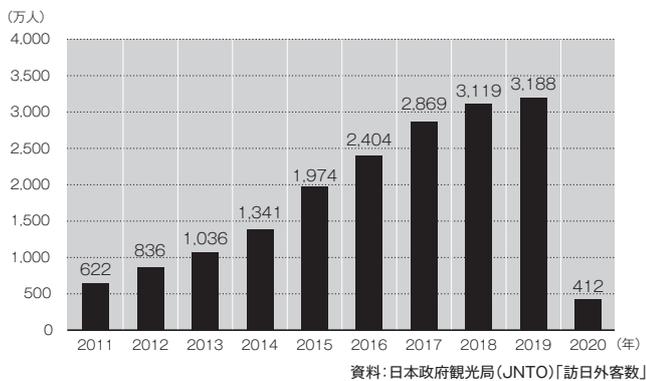
1 2020年の訪日旅行の概況

訪日外客数は前年比87.1%減の412万人と低迷、
それに伴い旅行消費額も前年比84.5%減の
7,446億円(試算値)と前年を大きく下回る

(1) 訪日外客数の動向

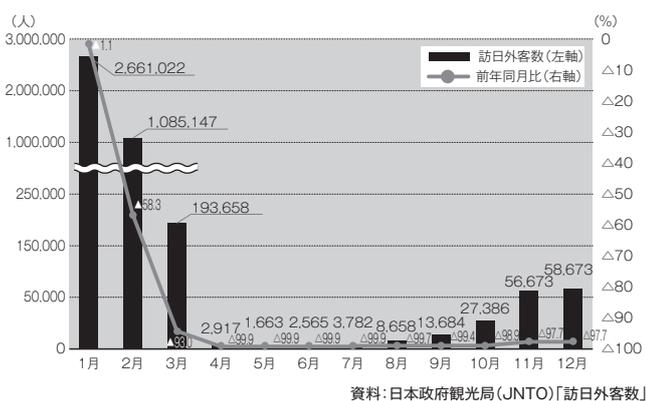
日本政府観光局(JNTO)によると、2020年の訪日外客数は412万人(前年比87.1%減)となった。2011年以降は過去最高を更新し続けてきたが、2020年は大幅減に転じ、2001年以来20年ぶりの400万人台にとどまった(図II-1-1)。

図II-1-1 訪日外客数の推移



月別に見ると、2020年1月は前年同月比1.1%減とほぼ前年並みであったが、2月は同58.3%減と減少幅が拡大、3月以降は各月とも9割を超える減少幅で推移した(図II-1-2)。

図II-1-2 訪日外客数(月別)



(2) 客層の変化

観光庁「訪日外国人消費動向調査」は新型コロナウイルス感染症の影響で2020年4~6月期、7~9月期、10~12月期調査はいずれも中止となった。そのため、本稿では2020年の数値は1~3月期調査結果を用いている。

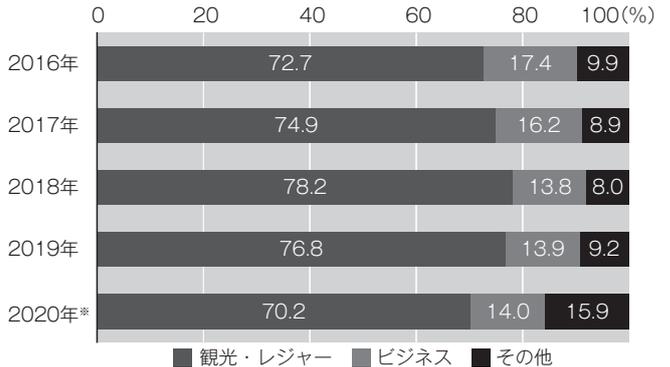
2020年1~3月期のクルーズ客を除いた一般客(以下、一般客)の客層は観光・レジャー目的客の割合が減少し、その他目的の割合が増加した(図II-1-3)。

訪日経験回数は、1~2回目の比率が減少し、3回目以上のリピーターの比率が増加した。

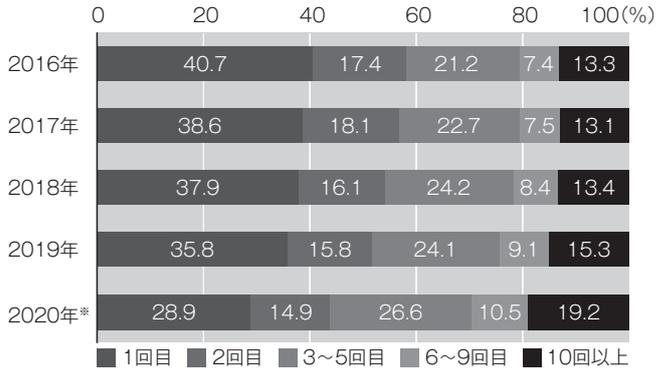
旅行手配方法では、パッケージ利用率が減少し、個別手配を利用した比率が増加した。

図II-1-3 訪日外国人の客層変化

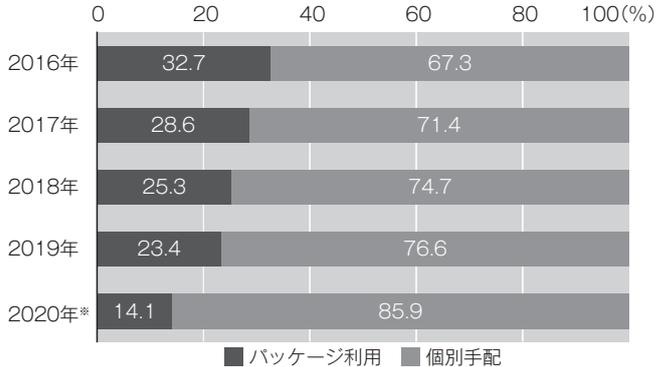
● 主な来訪目的



● 訪日経験回数



● 旅行手配方法



*2020年はいずれも1~3月期調査結果

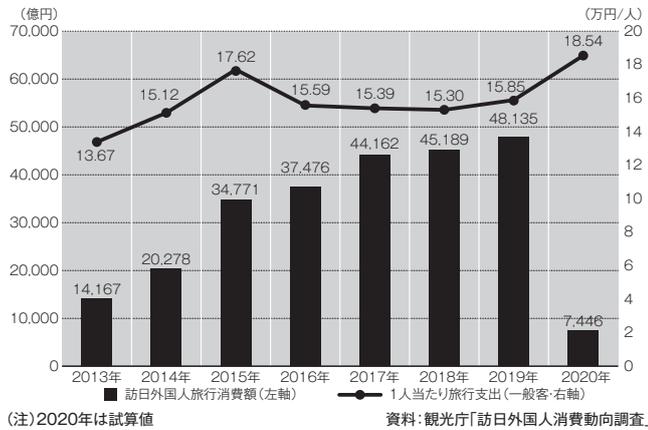
資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(3) 旅行支出の動向

前述のとおり観光庁「訪日外国人消費動向調査」は新型コロナウイルス感染症の影響で2020年4~6月期、7~9月期、10~12月期調査は中止となった。そのため、1~3月期調査の1人当たり旅行支出を用いた試算値によると、2020年暦年の訪日外国人旅行消費額は7,446億円(前年比84.5%減)であり、2013年以降では初めて減少に転じた(表II-1-1)。

一方で一般客の1人当たり旅行支出は18.54万円(前年比17.0%増)となった(図II-1-4)。多くの国・地域で滞在日数が前年を上回っていることが1人当たり旅行支出を押し上げたと思われる。

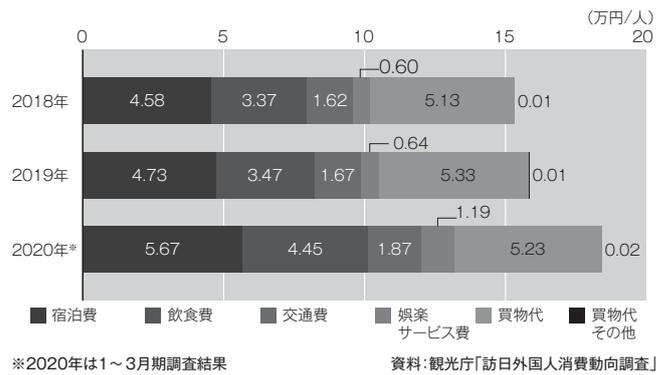
図II-1-4 訪日外国人旅行消費額の推移



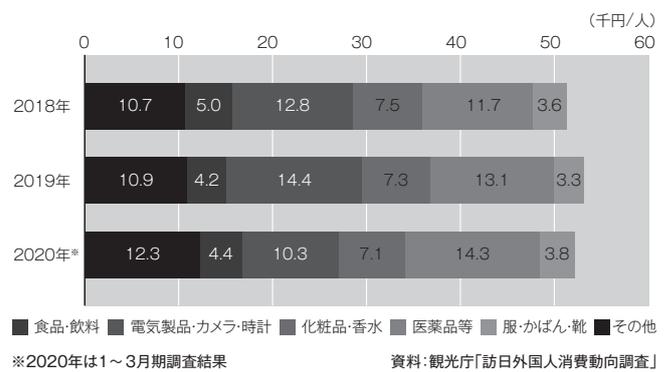
一般客の1人当たり旅行支出について費目別に見ると、滞在日数の長期化に伴い増加した宿泊費と飲食費が総額を押し上げたと考えられる(図II-1-5)。

買物代については、食品・飲料や服・かばん・靴は前年を上回ったが、化粧品・香水は前年を下回り、総額も2019年に比べ微減となった(図II-1-6)。

図II-1-5 費目別にみる訪日外国人1人当たり旅行支出(一般客)



図II-1-6 費目別にみる訪日外国人1人当たり買物代(一般客)



表II-1-1 2020年暦年における訪日外客数と訪日外国人旅行消費額(試算値)

	2020年暦年(試算値)	訪日外客数(人)	シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)	1人当たり旅行支出(円/人)		訪日外国人旅行消費額(億円)			
							前年比(%)		シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)
一般客	全国籍・地域	3,995,868	97.1	△86.6	△81.1	185,413	17.0	7,409	99.5	△84.3	△82.9
	韓国	487,772	11.9	△91.2	△15.9	87,900	15.4	429	5.8	△89.9	△7.9
	台湾	676,128	16.4	△85.3	△12.3	159,722	35.0	1,080	14.5	△80.2	△9.1
	香港	341,236	8.3	△84.8	△6.0	168,544	8.1	575	7.7	△83.6	△6.1
	中国	976,442	23.7	△87.8	△22.0	256,566	20.6	2,505	33.6	△85.3	△30.1
	タイ	219,798	5.3	△83.3	△3.4	139,715	6.3	307	4.1	△82.3	△3.0
	シンガポール	55,204	1.3	△88.7	△1.4	182,664	5.2	101	1.4	△88.1	△1.6
	マレーシア	76,492	1.9	△84.6	△1.3	123,935	△7.0	95	1.3	△85.7	△1.2
	インドネシア	77,658	1.9	△81.1	△1.0	153,448	17.1	119	1.6	△77.8	△0.9
	フィリピン	108,907	2.6	△82.1	△1.6	103,287	△4.3	112	1.5	△82.9	△1.1
	ベトナム	152,551	3.7	△69.1	△1.1	263,497	48.8	402	5.4	△54.1	△1.0
	インド	26,880	0.7	△84.5	△0.5	191,373	21.7	51	0.7	△81.2	△0.5
	英国	50,713	1.2	△87.7	△1.1	205,332	△14.9	104	1.4	△89.5	△1.9
	ドイツ	29,758	0.7	△87.0	△0.6	192,165	△4.6	57	0.8	△87.6	△0.8
	フランス	43,085	1.0	△87.2	△0.9	189,911	△20.0	82	1.1	△89.7	△1.5
	イタリア	13,655	0.3	△91.6	△0.5	229,426	15.0	31	0.4	△90.3	△0.6
	スペイン	11,723	0.3	△91.0	△0.4	190,762	△13.8	22	0.3	△92.2	△0.6
	ロシア	21,800	0.5	△81.6	△0.3	157,432	△14.0	34	0.5	△84.2	△0.4
	米国	218,764	5.3	△87.1	△4.6	208,402	10.0	456	6.1	△85.8	△5.7
	カナダ	52,920	1.3	△85.6	△1.0	180,290	△0.8	95	1.3	△85.7	△1.2
オーストラリア	142,627	3.5	△76.7	△1.5	238,826	△3.6	341	4.6	△77.5	△2.4	
その他	211,755	5.1	△84.5	△3.6	193,127	△12.8	409	5.5	△86.5	△5.5	
クルーズ客		119,960	2.9	△94.1	△6.0	31,019	△21.9	37	0.5	△95.4	△1.6
全体		4,115,828	100.0	△87.1	△87.1	-	-	7,446	100.0	△84.5	△84.5

(注)訪日外客数は暫定値を使用している。

資料:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(4) 日本人海外旅行との対比

2015年以降、外国人の訪日旅行（インバウンド旅行）が日本人の海外旅行（アウトバウンド旅行）を人数、国際収支ともに上回る状況が続いている。

日本人の海外旅行者数に相当する「日本人出国者数」（法務省「出入国管理統計」）は1990年代後半から右肩上がり増加、インバウンド旅行を大きく上回る傾向が続いてきた。その後、2000年代に入り、日本人出国者数がおおむね横ばい傾向で推移した一方でインバウンド旅行が急拡大した結果、2015年に訪日外客数が日本人出国者数を上回った。その後は訪日外客数と日本人出国者数の差は広がりつつも、日本人出国者数も増加が続き、2019年にはいずれも過去最高を記録した。

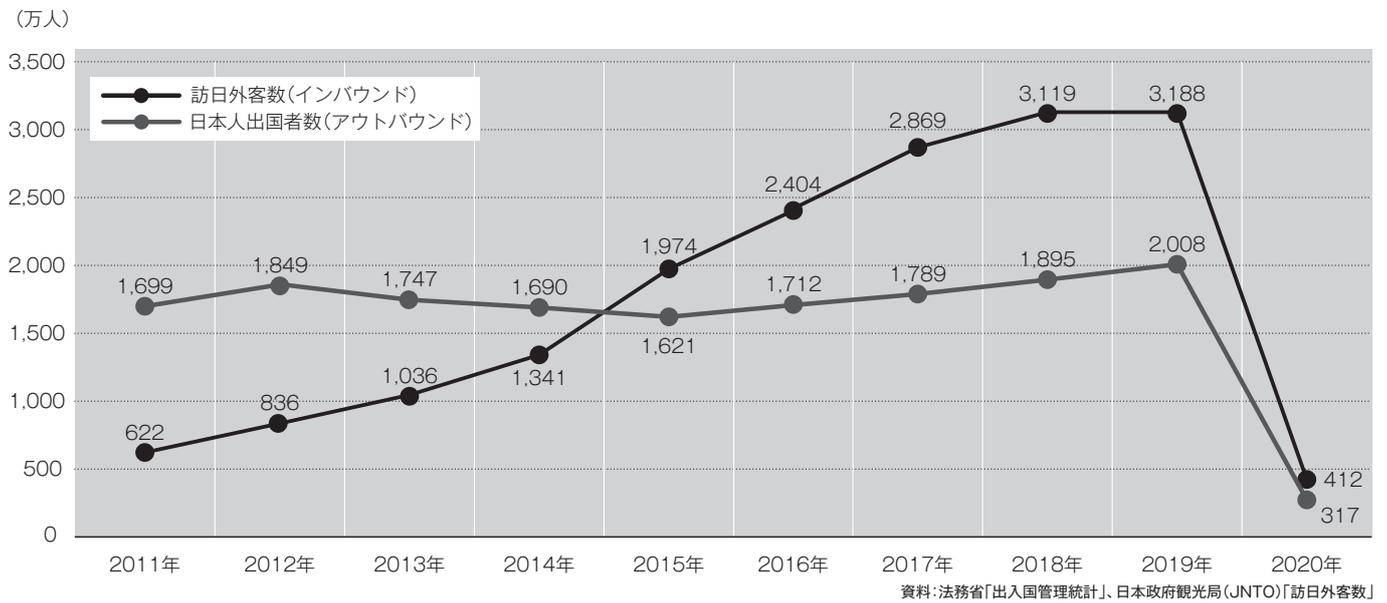
しかし、2020年は双方とも大幅に落ち込み、訪日外客数は

1998年以來の410万人台、日本人出国者数に至っては1977年以來の310万人台となった（図II-1-7）。

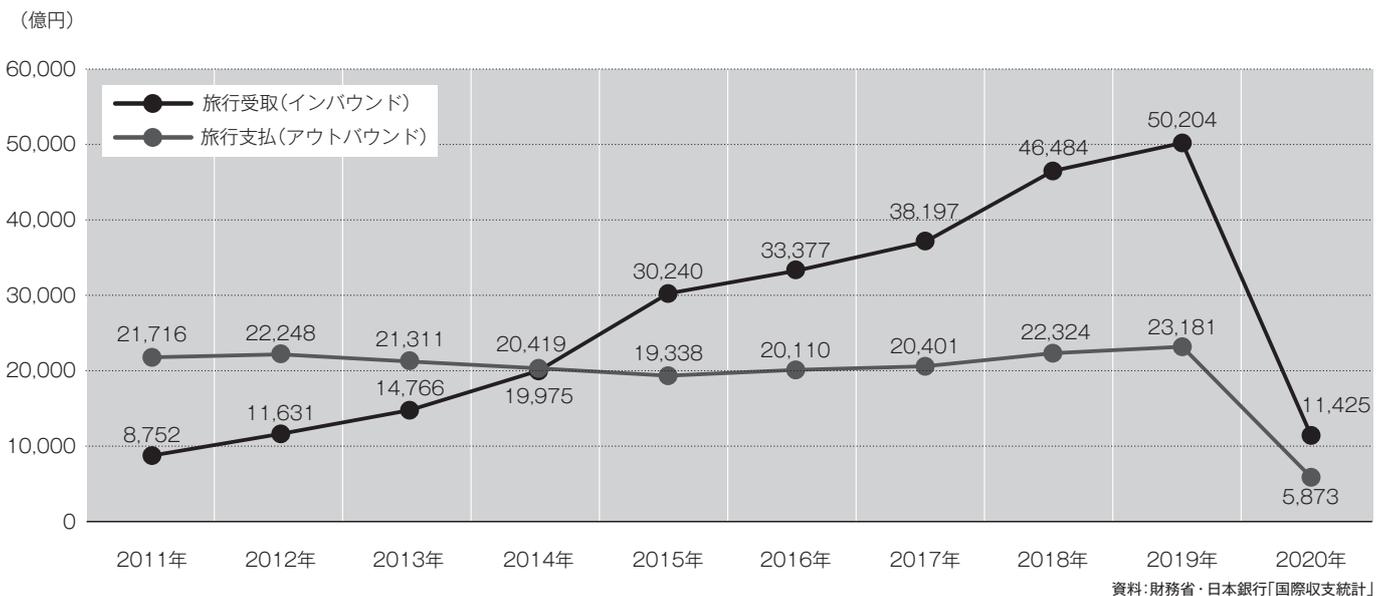
経済取引面からの視点として財務省・日本銀行「国際収支統計」を見ると、2010年には旅行支払（アウトバウンド旅行）がおおよそ2.4兆円に対して旅行受取（インバウンド旅行）がおおよそ1.2兆円と2倍の開きがあったが、2014年には両者ともおおよそ2兆円と並んだ。2015年以降は旅行受取が旅行支払を上回り、2019年は旅行支払（アウトバウンド旅行）がおおよそ2.3兆円に対して旅行受取（インバウンド旅行）がおおよそ5.0兆円と、両者の差は継続して拡大傾向にあった。2020年は旅行者数の減少に伴いいずれも大幅減となったが、旅行受取が旅行支払を上回る傾向は継続した（図II-1-8）。

（相澤 美穂子）

図II-1-7 訪日外客数および日本人出国者数の推移



図II-1-8 国際収支における旅行受取および支払の推移



2 市場別にみる訪日旅行動向

2020年の訪日外客数は
全ての国籍・地域において7～9割の大幅減少

(1) 国籍・地域別にみる訪日旅行動向

前述のとおり、観光庁「訪日外国人消費動向調査」は新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年4～6月期、7～9月期、10～12月期調査がいずれも中止となった。そのため、本節では、2020年1～3月期の調査結果を用いて、市場別の訪日旅行動向を記述する。

訪日外客数を国籍・地域別にみると、2020年は全ての国籍・地域で前年と比べ大きく減少しており、訪日外客数全体では87.1%減少した(表Ⅱ-1-2)。

2020年の1～3月期における1人当たりの旅行支出(クルーズ

客を除く)を国籍・地域別にみると、ベトナムが最も高く26.3万円、ついで中国が25.7万円、オーストラリアが23.9万円であった。2020年1～3月期にはすでに海外を中心に新型コロナウイルス感染症の影響が出始めていたとみられ、同時期に訪日した外国人旅行者は観光・レジャー目的の訪問比率が低い傾向にある(前項参照)。その影響からか、一般的に滞在日数は長期化の傾向が見られ、中でも滞在日数が長い傾向にあるベトナムの支出の多さが目立つ結果となった。

そのほか、オーストラリア人は、スキーなどのアクティビティを楽しむ客層が多いことから、娯楽サービス費が2.8万円と高くなっている。また、中国人は2019年までの傾向と同様に、買い物代の割合が高く、10.0万円を支出している。最も旅行支出が小さいのは韓国(8.8万円)で、費目別にみても、ほぼ全ての費目において他の国籍・地域に比べて支出が小さい(表Ⅱ-1-3)。

表Ⅱ-1-2 訪日外客数の推移(国籍・地域別)

(単位: 万人) (単位: %)

年	2003																				2021		
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021上期	2019/2018年比	2020/2019年比	2021上期/2020上期比	
訪日外客数全体	521.2	613.8	672.8	733.4	834.7	835.1	679.0	861.1	621.9	835.8	1036.4	1341.3	1973.7	2404.0	2869.1	3119.2	3188.2	411.6	9.6	2.2	△87.1	△97.6	
東アジア	韓国	145.9	158.8	①174.7	②117.7	③260.1	④238.2	⑤158.7	⑥244.0	⑦165.8	⑧204.3	⑨245.6	⑩275.5	⑪400.2	⑫509.0	⑬714.0	⑭753.9	⑮558.5	⑯48.8	0.8	△25.9	△91.3	△98.3
	台湾	78.5	108.1	①127.5	②130.9	③138.5	④139.0	⑤102.4	⑥126.8	⑦99.4	⑧146.6	⑨221.1	⑩283.0	⑪367.7	⑫416.8	⑬456.4	⑭475.7	⑮489.1	⑯69.4	0.3	2.8	△85.8	△99.6
	香港	26.0	30.0	29.9	35.2	43.2	55.0	45.0	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.6	0.0	3.8	△84.9	△99.9
	中国	44.9	61.6	65.3	81.2	③94.2	④100.0	⑤100.6	⑥141.3	⑦104.3	⑧142.5	⑨131.4	⑩240.9	⑪499.4	⑫637.4	⑬735.6	⑭838.0	⑮959.4	⑯106.9	⑰2.3	14.5	△88.9	△97.8
東南アジア	タイ	8.0	10.5	12.0	12.6	16.7	19.2	17.8	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	22.0	0.1	16.5	△83.3	△99.3
	マレーシア	7.7	9.0	9.4	11.6	15.2	16.8	14.5	18.1	11.1	14.2	18.9	22.8	30.9	36.2	40.4	43.7	49.2	5.5	0.0	12.6	△88.8	△99.4
	シンガポール	6.5	7.2	7.8	8.6	10.1	10.6	9.0	11.5	8.2	13.0	17.7	25.0	30.5	39.4	44.0	46.8	50.2	7.7	0.1	7.1	△84.7	△99.1
	フィリピン	6.5	5.5	5.9	6.0	6.4	6.7	6.4	8.1	6.2	10.1	13.7	15.9	20.5	27.1	35.2	39.7	41.3	7.8	0.2	4.0	△81.2	△96.6
	インドネシア	13.8	15.5	14.0	9.6	9.0	8.2	7.1	7.7	6.3	8.5	10.8	18.4	26.8	34.8	42.4	50.4	61.3	10.9	0.3	21.7	△82.2	△97.4
ベトナム	1.7	1.9	2.2	2.6	3.2	3.5	3.4	4.2	4.1	5.5	8.4	12.4	18.5	23.4	30.9	38.9	49.5	15.3	⑰2.2	27.3	△69.2	△80.6	
欧米・その他	インド	4.8	5.3	5.9	6.3	6.8	6.7	5.9	6.7	5.9	6.9	7.5	8.8	10.3	12.3	13.4	15.4	17.6	2.7	0.3	14.2	△84.7	△84.9
	英国	20.1	21.6	22.2	21.6	22.2	20.7	18.1	18.4	14.0	17.4	19.2	22.0	25.8	29.2	31.0	33.4	42.4	5.1	0.1	27.0	△88.0	△97.6
	フランス	8.5	9.6	11.1	11.8	13.8	14.8	14.1	15.1	9.5	13.0	15.5	17.9	21.4	25.3	26.9	30.5	33.6	4.3	0.1	10.3	△87.2	△97.1
	ドイツ	9.4	10.6	11.8	11.5	12.5	12.6	11.1	12.4	8.1	10.9	12.2	14.0	16.3	18.3	19.6	21.5	23.7	3.0	0.1	9.8	△87.4	△96.5
	イタリア	3.6	3.9	4.5	4.6	5.4	5.6	6.0	6.2	3.4	5.2	6.7	8.1	10.3	11.9	12.6	15.0	16.3	1.4	0.1	8.5	△91.6	△96.2
	スペイン	1.5	1.9	2.6	2.7	3.3	4.1	4.2	4.4	2.1	3.5	4.4	6.1	7.7	9.2	10.0	11.9	13.0	1.2	0.1	9.5	△91.0	△93.8
	ロシア	4.5	5.7	6.4	6.1	6.4	6.6	4.7	5.1	3.4	5.0	6.1	6.4	5.4	5.5	7.7	9.5	12.0	2.2	0.1	26.6	△81.5	△96.1
	米国	65.6	76.0	③82.2	④81.7	81.6	76.8	70.0	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	21.9	0.5	12.9	△87.3	△97.7
	カナダ	12.6	14.2	15.0	15.7	16.6	16.8	15.3	15.3	10.1	13.5	15.3	18.3	23.1	27.3	30.6	33.1	37.5	5.3	0.1	13.5	△85.8	△99.1
	オーストラリア	17.2	19.4	20.6	19.5	22.3	24.2	21.2	22.6	16.3	20.6	24.5	30.3	37.6	44.5	49.5	55.2	62.2	14.4	0.1	12.5	△76.9	△99.6
その他	34.0	37.5	42.0	42.0	47.2	48.9	43.6	48.1	36.1	49.0	57.5	68.2	85.7	98.0	109.5	119.9	138.1	21.2	⑰1.8	15.2	△84.6	△90.1	

(注1)①②③は各年で旅行者数が多い国籍・地域の順位を示す。

(注2)訪日外客数は2019年までは確定値、2020年から2021年4月までは暫定値、2021年5～6月は推計値を使用している。

資料: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」

表Ⅱ-1-3 費目別にみる訪日外国人1人当たり旅行支出と旅行消費額(一般客(クルーズ客以外の訪日外国人)、国籍・地域別、2020年1～3月期)
(単位: 円/人) (単位: 億円)

国籍・地域	旅行支出総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽サービス費	買い物代	その他	旅行消費額
全国籍・地域	184,135	56,653	44,480	18,672	11,899	52,279	152	7,409
東アジア	韓国	87,900	28,486	26,679	7,851	5,451	19,380	52
	台湾	159,722	49,479	36,696	15,196	10,495	47,822	34
	香港	168,544	48,931	43,876	18,193	7,374	50,092	78
	中国	256,566	62,620	55,202	19,922	18,279	100,233	310
東南アジア	タイ	139,715	37,959	31,642	17,780	5,199	46,928	207
	シンガポール	182,664	67,918	46,065	23,174	8,619	36,151	736
	マレーシア	123,935	39,305	27,451	15,238	6,020	35,921	0
	インドネシア	153,448	47,204	30,850	22,342	12,748	40,054	249
	フィリピン	103,287	29,124	26,111	12,584	4,778	30,673	16
ベトナム	263,497	96,618	73,179	18,974	14,351	59,978	396	
欧米・その他	インド	191,373	82,671	54,354	22,845	4,088	27,414	0
	英国	205,332	82,677	51,375	32,891	16,521	21,816	52
	ドイツ	192,165	88,532	47,473	27,885	8,422	19,639	215
	フランス	189,911	72,119	44,409	26,909	16,685	29,775	13
	イタリア	229,426	88,557	58,182	31,023	20,623	31,041	0
	スペイン	190,762	65,016	46,980	34,480	19,960	23,501	825
	ロシア	157,432	46,227	40,013	16,388	7,394	47,411	0
	米国	208,402	86,792	58,355	27,028	11,409	24,668	149
	カナダ	180,290	74,368	46,689	24,200	10,309	24,709	14
	オーストラリア	238,826	90,015	61,835	32,014	28,020	26,942	0
その他	193,127	75,185	51,607	26,435	10,419	29,376	105	

資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

①韓国

2020年の韓国人出国者数は428万人で、2019年の2,871万人から85.1%の減少となった(表II-1-7)。また、2020年の訪日韓国人旅行者数は49万人(前年比91.2%減)で、出国者に占める訪日旅行者の比率は11.4%であった。

2020年1～3月期における訪日韓国人の客層についてみると、平均泊数が10.2泊、観光レジャー比率が53.8%、リピーター率が85.2%、ツアー利用率が4.9%であった(表II-1-4)。2020年1～3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた時期であることから、韓国の場合は他の主要国・地域に比べ、観光・レジャー比率が2019年以前とは大きく異なっており、平均泊数やリピーター率、ツアー利用率の変化にも影響したと考えられる。

また、2020年1～3月期の訪日韓国人1人当たりの平均旅行支出総額は、他の国籍・地域に比べて低い87,900円であった。買い物代の費目別購入率をみると、最も購入率が高い費目は「菓子類」の63.1%、次いで「その他食料品・飲料・たばこ」が40.1%、「医薬品」が25.9%であった。為替レートは前年に比べてやや円安傾向であった。

表II-1-4 訪日韓国人の旅行動向

	2019年	2020年
訪日韓国人旅行者数(万人)	558	49
平均泊数(泊)	5.1	10.2*
観光レジャー比率(%)	77.8	53.8*
リピーター率(%)	79.2	85.2*
ツアー利用率(%)	14.7	4.9*

*2020年1～3月期の値

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

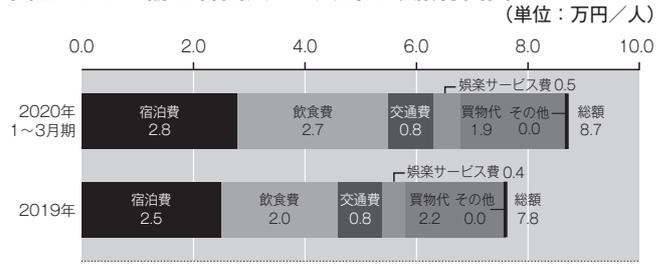
表II-1-7 韓国基本情報

年	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	4,819	4,955	4,994	5,020	5,043	5,075	5,102	5,122	5,136	5,161	5,171	5,178	5,189
②韓国人出国者数(万人)*2	1,008	1,249	1,269	1,374	1,485	1,608	1,931	2,238	2,650	2,870	2,871	428	—
③出国率(%) (②÷①)	20.9	25.2	25.4	27.4	29.4	31.7	37.9	43.7	51.6	55.6	55.5	8.3	—
④訪日韓国人旅行者数(万人)*3	174.7	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5	48.8	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	17.3	19.5	13.1	14.9	16.5	17.1	20.7	22.7	26.9	26.3	19.4	11.4	—
⑥為替レート(100円/韓国ウォン)*1	10.8	7.6	7.2	7.1	8.9	10.0	10.7	9.4	9.9	10.0	9.4	9.0	—
⑦GDP成長率(%)※1	4.3	6.8	3.7	2.4	3.2	3.2	2.8	2.9	3.2	2.9	2.0	△1.0	—
⑧一人当たりGDP(米ドル)*1	19,398	23,077	25,100	25,459	27,180	29,253	28,737	29,274	31,601	33,433	31,846	31,497	—

(注) 斜体は推計値

資料:IMF(※1)、KTO(※2)、JNTO(※3)

図II-1-9 訪日韓国人の1人当たり旅行支出



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-5 費目別購入率及び購入者単価(韓国, 2020年1～3月期)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	63.1	5,257
2位	その他食料品・飲料・たばこ	40.4	6,233
3位	医薬品	25.9	7,260
4位	酒類	20.0	9,674
5位	衣類	18.6	16,024
6位	化粧品・香水	17.1	7,369
7位	健康グッズ・トイレットリー	7.7	5,645
8位	靴・かばん・革製品	6.7	24,822
9位	生鮮農産物	3.6	48,046
10位	民芸品・伝統工芸品	3.4	7,292

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-6 アジア各国・地域への韓国人訪問者数

訪問先	基準	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
日本	NFV	275.5	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5
台湾	RFV	52.8	65.9	88.4	105.5	101.9	124.3
香港	RFV	89.5	93.3	107.2	116.1	111.6	78.0
中国	NFV	418.2	444.4	477.5	386.4	419.3	—
タイ	NFT	110.9	135.9	145.0	170.9	179.6	188.8
シンガポール	RFV	53.7	57.7	56.7	63.1	62.9	64.6
マレーシア	NFV	38.6	42.1	44.4	48.5	61.7	67.3
インドネシア	RFT	35.2	37.6	38.7	—	35.9	38.8
フィリピン	RFT	117.5	134.0	147.5	160.8	158.8	198.9
ベトナム	RFV	84.8	111.3	154.4	241.5	348.5	429.1
カンボジア	RFT	42.4	39.5	35.7	34.5	30.2	25.5

資料:日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2019)」
(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数、
[T]宿泊を伴った旅行者数

②台湾

2020年における台湾人出国者数は234万人で、2019年の1,710万人から86.3%の減少となった(表II-1-11)。また、2020年の訪日台湾人旅行者数は69万人(前年比85.9%減)で、出国者に占める訪日旅行者の比率は29.7%であった。台湾人旅行者の方面別旅行先をみると、2015年以降日本が1位となっており、新型コロナウイルス感染症の影響があった2020年についても、日本への旅行者数が最も多い結果となった。

2020年1～3月期における訪日台湾人旅行者の客層についてみると、平均泊数は14.5泊、観光レジャー比率は84.3%、リピーター率は90.4%、ツアー利用率は27.2%であった(表II-1-8)。訪日台湾人旅行者はほかの国籍・地域と比較してツアー利用率が高い傾向にあったが、2020年1～3月期はFIT比率が高かった。

2020年1～3月期の訪日台湾人旅行者1人当たりの旅行支出は159,722円であった。また、買い物代の費目別の購入率についてみると、最も購入率が高いのは「菓子類」で72.7%、次いで「医薬品」が51.5%、「その他食料品・飲料・たばこ」が33.6%であった。

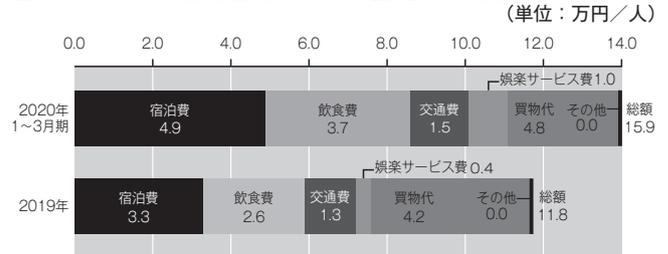
表II-1-8 訪日台湾人の旅行動向

	2019年	2020年
訪日台湾人旅行者数(万人)	489	69
平均泊数(泊)	6.1	14.5*
観光レジャー比率(%)	88.5	84.3*
リピーター率(%)	86.8	90.4*
ツアー利用率(%)	34.7	27.2*

*2020年1～3月期の値

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-10 訪日台湾人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-9 費目別購入率及び購入者単価(台湾、2020年1～3月期)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	72.7	8,788
2位	医薬品	51.5	16,858
3位	その他食料品・飲料・たばこ	33.6	9,581
4位	衣類	33.4	22,237
5位	化粧品・香水	32.8	15,175
6位	健康グッズ・トイレタリー	24.2	12,949
7位	靴・かばん・革製品	22.8	27,074
8位	酒類	18.5	8,642
9位	生鮮農産物	10.0	9,142
10位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	9.7	23,556

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-10 方面別台湾人旅行者数

	2016年			2017年			2018年			2019年			2020年		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)												
1位	日本	429.5	13.1	日本	461.6	7.5	日本	482.6	4.6	日本	491.2	1.8	日本	69.8	△85.8
2位	中国	368.5	8.3	中国	392.8	6.6	中国	417.3	6.2	中国	404.4	△3.1	中国	41.5	△89.7
3位	香港	190.3	△5.3	香港	177.3	△6.8	香港	169.6	△4.3	香港	167.6	△1.2	香港	16.4	△86.4
4位	韓国	80.8	61.7	韓国	88.9	9.9	韓国	108.7	22.3	韓国	120.9	11.3	韓国	15.8	△81.4
5位	マカオ	59.9	13.6	マカオ	58.9	△1.6	タイ	67.9	22.6	ベトナム	85.3	29.5	ベトナム	15.8	△90.6

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国・地域の到着者数とは一致しない。

資料：台湾交通部観光局

表II-1-11 台湾基本情報

年	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	2,277	2,316	2,323	2,332	2,337	2,343	2,349	2,354	2,357	2,359	2,360	2,362	2,367
②台湾人出国者数(万人)*2	821	942	958	1,024	1,105	1,184	1,318	1,459	1,565	1,664	1,710	234	—
③出国率(%) (②÷①)	36.0	40.6	41.3	43.9	47.3	50.5	56.1	62.0	66.4	70.6	72.5	9.9	—
④訪日台湾人旅行者数(万人)*3	127.5	126.8	99.4	146.6	221.1	283.0	367.7	416.8	456.4	475.7	489.1	69.4	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	15.5	13.5	10.4	14.3	20.0	23.9	27.9	28.6	29.2	28.6	28.6	29.7	—
⑥為替レート(円/台湾ドル)*1 *4	3.4	2.8	2.7	2.7	3.3	3.5	3.8	3.4	3.7	3.7	3.5	3.6	—
⑦GDP成長率(%) *1	5.4	10.2	3.7	2.2	2.5	4.7	1.5	2.2	3.3	2.8	3.0	3.1	—
⑧一人当たりGDP(米ドル)*1	16,427	19,181	20,839	21,256	21,945	22,844	22,753	23,071	25,062	25,826	25,936	28,306	—

(注) 斜体は推計値

資料：IMF(*1)、台湾交通部観光局(*2)、JNTO(*3)、FRB(*4)

③香港

香港人の2018年における出国者数は9,221万人で、近年はやや高止まり傾向にあったものの、人口に対する出国率が非常に高い状態が続いていた。2021年9月現在、2019、2020年の香港人出国者数は未発表であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、他の国・地域と同様に大きく減少したと考えられる。2020年の訪日香港人旅行者数は35万人で、2019年の229万人と比較し84.7%の減少となった。

2020年1～3月期における訪日香港人旅行者の客層についてみると、平均泊数は7.7泊、観光レジャー比率は91.8%、リピーター率は89.3%、ツアー利用率は11.0%であった。訪日香港人旅行者の特徴は、他の国籍・地域に比べ観光レジャー比率とリピーター率が高いことであるが、2020年1～3月期のデータからもその傾向が継続していることが伺える。また、2020年1～3月期のツアー利用率は11.0%となっており、個人旅行で訪問した割合が多い結果となった。

2020年1～3月期における訪日香港人1人当たりの旅行支出総額は、168,544円であった。他の国籍・地域に比べて1泊当たりの滞在費(宿泊費・飲食費)が高い点が香港の特徴である(図II-1-11)。買物代の費目別購入率をみると、最も購入率が高いのは「菓子類」で64.2%、次いで「医薬品」が49.9%、「衣類」が41.0%であった。他の国籍・地域と比べ、衣類の購入率が高いことも香港人旅行者の特徴であると言える。

表II-1-12 訪日香港人の旅行動向

	2019年	2020年
訪日香港人旅行者数(万人)	229	35
平均泊数(泊)	6.1	7.7*
観光レジャー比率(%)	91.6	91.8*
リピーター率(%)	88.1	89.3*
ツアー利用率(%)	21.1	11.0*

*2020年1～3月期の値

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

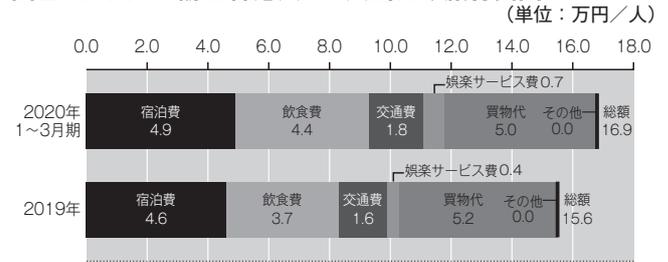
表II-1-15 香港基本情報

年	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	684	705	711	717	721	725	731	738	741	749	752	747	765
②香港人出国者数(万人)*2	7,230	8,444	8,482	8,528	8,441	8,452	8,908	9,176	9,134	9,221	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	1057.3	1197.4	1192.9	1189.2	1170.6	1165.3	1218.6	1243.9	1232.2	1231.8	—	—	—
④訪日香港人旅行者数(万人)*2	29.9	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.6	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率 (④÷②)	0.4	0.6	0.4	0.6	0.9	1.1	1.7	2.0	2.4	2.4	—	—	—
⑥為替レート(円/香港ドル)*1*3	14.2	11.3	10.2	10.3	12.6	13.6	15.6	14.0	14.4	14.1	13.9	13.9	—
⑦GDP成長率(%)*1	7.4	6.8	4.8	1.7	3.1	2.8	2.4	2.2	3.8	2.8	△1.2	△6.1	—
⑧一人当たりGDP(米ドル)*1	26,552	32,421	34,955	36,624	38,233	40,185	42,325	43,491	46,032	48,313	48,626	46,753	—

(注) 斜体は推計値

資料: IMF(*1)、JNTO(*2)、FRB(*3)

図II-1-11 訪日香港人の1人当たり旅行支出



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-13 費目別購入率及び購入者単価(香港、2020年1～3月期)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	64.2	8,468
2位	医薬品	49.9	11,950
3位	衣類	41.0	22,146
4位	化粧品・香水	36.1	15,119
5位	その他食料品・飲料・たばこ	33.2	9,115
6位	健康グッズ・トイレットリー	27.9	13,899
7位	靴・かばん・革製品	27.4	33,184
8位	酒類	14.3	13,872
9位	生鮮農産物	12.2	6,458
10位	本・雑誌・ガイドブックなど	6.4	6,474

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-14 アジア各国・地域への香港人訪問者数

(単位:万人)

訪問先	基準	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
日本	NFV	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1
韓国	NFV	55.8	52.3	65.1	65.8	68.4	69.5
台湾	RFV	137.6	151.4	161.5	169.2	165.4	175.8
中国	NFV	7,613.2	7,944.8	8,105.9	7,979.6	—	8,050.0
タイ	NFT	48.3	67.0	75.1	82.1	101.6	104.5
シンガポール	RFV	63.1	61.0	53.8	46.6	47.3	48.9
マレーシア	NFV	0.1	0.1	—	—	—	—
インドネシア	RFT	9.5	9.4	10.1	9.8	9.1	5.0
フィリピン	RFT	11.4	12.2	11.6	11.1	11.8	9.2
ベトナム	RFV	1.5	—	3.5	4.8	6.2	5.2
カンボジア	RFT	1.0	1.5	1.6	1.3	1.2	0.2

資料:日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2019)」

(注) [N] 国籍別統計、[R] 居住地別統計 / [F] 国境到着者数 / [V] 日帰りを含む旅行者数、[T] 宿泊を伴った旅行者数

④中国

中国人の出国者数は近年継続的に増加しており、2019年には1億6,921万人にのぼっていた(表Ⅱ-1-19)。2021年9月現在、2020年の中国人出国者数は未発表であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、他の国籍・地域と同様に大きく減少したと考えられる。訪日中国人旅行者数については、2020年は107万人で、2019年の959万人と比較し88.8%の減少となった(表Ⅱ-1-16)。

2020年1～3月期における訪日中国人旅行者の客層をみると、平均泊数が23.0泊、観光レジャー比率が75.8%、リピーター率が67.7%、ツアー利用率が14.4%であった(表Ⅱ-1-16)。ツアー利用率が高いのが中国人観光客の特徴であるが、2020年1～3月期においては個人旅行で訪問した割合が2019年と比較して多い結果となった。

2020年1～3月期における訪日中国人旅行者1人当たりの旅行支出は256,566円であった。訪日中国人旅行者の特徴として、買い物代への支出比率が高いことが挙げられるが、2020年1～3月期においては、平均泊数が長期化していることから、宿泊費、飲食費、娯楽サービス費への支出も多くなっている(図Ⅱ-1-12)。買い物代の費目別購入率をみると、最も購入率が高いのが「化粧品・香水」で72.1%、次いで「菓子類」が68.3%、「医薬品」が46.8%であった。特に「化粧品・香水」は購入者単価も4.4万円と他の国籍・地域と比較して高い。為替レートは、2015年以降円高傾向が続いている。

表Ⅱ-1-16 訪日中国人の旅行動向

	2019年	2020年
訪日中国人旅行者数(万人)	959	107
平均泊数(泊)	7.5	23.0*
観光レジャー比率(%)	84.2	75.8*
リピーター率(%)	50.0	67.7*
ツアー利用率(%)	34.0	14.4*

※2020年1～3月期の値 資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

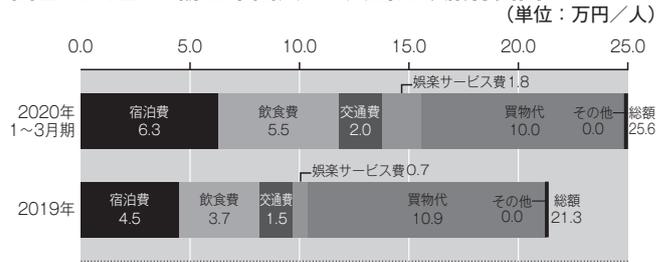
表Ⅱ-1-19 中国基本情報

年	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人) ^{※1}	130,756	134,091	134,735	135,404	136,072	136,782	137,462	138,271	139,008	139,538	140,005	140,433	141,624
②中国人出国者数(万人) ^{※2}	3,103	5,739	7,025	8,318	9,819	11,659	12,786	13,513	14,273	16,199	16,921	—	—
③出国率(%) (②÷①)	2.4	4.3	5.2	6.1	7.2	8.5	9.3	9.8	10.3	11.6	12.1	—	—
④訪日中国人旅行者数(万人) ^{※3}	65.3	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9	499.4	637.4	735.6	838.0	959.4	106.9	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率 (④÷②)	2.1	2.5	1.5	1.7	1.3	2.1	3.9	4.7	5.2	5.2	5.7	—	—
⑥為替レート(円/中国元) ^{※1}	13.5	13.0	12.3	12.6	15.8	17.2	19.5	16.4	16.6	16.7	15.8	15.4	—
⑦GDP成長率(%) ^{※1}	11.3	10.8	9.5	7.9	7.8	7.4	7.0	6.9	6.9	6.7	5.8	2.3	—
⑧一人当たりGDP(米ドル) ^{※1}	1,751	4,500	5,561	6,307	7,073	7,694	8,085	8,120	8,823	9,920	10,243	10,484	—

(注1) 斜体は推計値 (注2) ②中国人出国者数は香港・マカオへの出国者を含むが、日帰りは含んでいない。

資料：IMF(※1)、中国国家統計局(※2)、JNTO(※3)

図Ⅱ-1-12 訪日中国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-17 費目別購入率及び購入者単価(中国、2020年1～3月期)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	化粧品・香水	72.1	44,066
2位	菓子類	68.3	11,118
3位	医薬品	46.8	20,007
4位	衣類	38.6	36,320
5位	その他食料品・飲料・たばこ	30.7	13,760
6位	健康グッズ・トイレットリー	26.6	15,918
7位	靴・かばん・革製品	23.1	39,408
8位	酒類	14.5	13,069
9位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	12.3	31,076
10位	民芸品・伝統工芸品	6.9	16,496

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-18 アジア各国・地域への中国人訪問者数

訪問先	基準	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
日本	NFV	240.9	499.4	637.4	735.6	838.0	959.4
韓国	NFV	612.7	598.4	806.8	416.9	479.0	602.3
台湾	RFV	398.7	418.4	351.2	273.3	269.6	271.4
香港	RFV	1,907.7	1,799.7	1,736.5	1,852.6	1,990.2	1,622.7
タイ	NFV	463.6	793.7	875.8	980.6	1,053.4	1,099.5
シンガポール	RFV	172.2	210.6	286.4	322.8	341.8	362.7
マレーシア	NFV	161.3	167.7	212.5	228.1	294.4	311.4
インドネシア	RFV	105.3	124.9	155.7	209.3	213.9	207.2
フィリピン	RFV	394.6	49.1	67.6	96.8	125.5	174.3
ベトナム	RFV	194.7	178.1	269.7	400.8	496.6	580.6
カンボジア	RFV	56.0	69.5	83.0	121.1	202.4	236.2

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2019)」 (注) [N] 国籍別統計、[R] 居住地別統計 / [F] 国境到着者数 / [V] 日帰りを含む旅行者数、 [T] 宿泊を伴った旅行者数

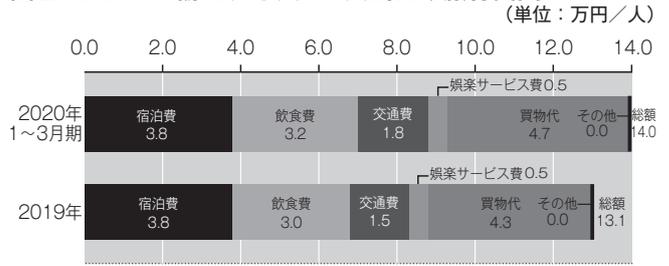
⑤タイ

タイ人の出国者数および出国率は2010年以降継続的に増加しており、2018年時点で996万人(出国率14.3%)であった。2021年9月現在、2020年のタイ人出国者数は未発表であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、他の国・地域と同様に大きく減少したと考えられる。訪日タイ人旅行者数については、2020年は22万人で、2019年の132万人と比較し83.3%の減少となった。

2020年1～3月期における訪日タイ人旅行者の客層をみると、平均泊数は9.3泊、観光レジャー比率は73.9%、リピーター率は74.5%、ツアー利用率は24.7%であった。

また、2020年1～3月期における訪日タイ人旅行者1人当たりの旅行支出は139,715円であった(図II-1-13)。買い物代の費目別購入率をみると、最も購入率が高いのは「菓子類」で81.0%、次いで「衣類」が39.8%、「化粧品・香水」が37.2%であった。購入者単価についてみても、「菓子類」は11,319円と他の国籍・地域と比較して高いことがわかる(表II-1-21)。

図II-1-13 訪日タイ人の1人当たり旅行支出



資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-21 費目別購入率及び購入者単価(タイ、2020年1～3月期)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	81.0	11,319
2位	衣類	39.8	14,703
3位	化粧品・香水	37.2	18,113
4位	靴・かばん・革製品	33.6	39,473
5位	その他食料品・飲料・たばこ	33.0	8,962
6位	酒類	16.9	8,038
7位	医薬品	10.2	11,155
8位	生鮮農産物	8.8	8,124
9位	健康グッズ・トイレットリー	8.3	16,132
10位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	4.6	20,537

資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-20 訪日タイ人の旅行動向

	2019年	2020年
訪日タイ人旅行者数(万人)	132	22
平均泊数(泊)	8.8	9.3*
観光レジャー比率(%)	77.2	73.9*
リピーター率(%)	72.2	74.5*
ツアー利用率(%)	28.9	24.7*

※2020年1～3月期の値

資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-22 アジア各国・地域へのタイ人訪問者数

(単位: 万人)

訪問先	基準	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
日本	NFV	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9
韓国	NFV	46.7	37.2	47.0	49.9	55.9	57.2
台湾	RFV	10.5	12.4	19.6	29.3	32.0	41.4
香港	RFV	39.5	41.1	45.5	43.0	45.0	35.3
中国	NFV	61.3	94.1	74.9	77.6	83.3	—
シンガポール	RFV	50.7	51.6	54.7	53.1	54.6	52.8
マレーシア	NFV	129.9	134.4	178.1	183.7	191.5	188.4
インドネシア	RFT	11.4	12.1	12.5	13.8	12.4	13.7
フィリピン	RFT	4.6	4.4	4.8	4.9	6.0	6.1
ベトナム	RFV	24.7	21.5	26.7	30.2	34.9	51.0
カンボジア	RFT	27.9	35.0	39.8	39.5	38.2	46.6

資料: 日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2019)」

(注) [N] 国籍別統計、[R] 居住地別統計 / [F] 国境到着者数 / [V] 日帰りを含む旅行者数、
[T] 宿泊を伴った旅行者数

表II-1-23 タイ基本情報

年	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	6,542	6,720	6,752	6,784	6,815	6,844	6,872	6,897	6,921	6,943	6,963	6,980	7,027
②タイ人出国者数(万人)*2	305	534	540	572	597	644	679	820	896	996	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	4.7	7.9	8.0	8.4	8.8	9.4	9.9	11.9	13.0	14.3	—	—	—
④訪日タイ人旅行者数(万人)*2	12.0	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	22.0	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率 (④÷②)	3.9	4.0	2.7	4.6	7.6	10.2	11.7	11.0	11.0	11.4	—	—	—
⑥為替レート(円/バーツ)*1	2.7	2.8	2.6	2.6	3.2	3.3	3.5	3.1	3.3	3.4	3.5	3.4	—
⑦GDP成長率(%)*1	4.2	7.5	0.8	7.2	2.7	1.0	3.1	3.4	4.2	4.2	2.3	△6.1	—
⑧一人当たりGDP(米ドル)*1	2,890	5,074	5,494	5,863	6,169	5,952	5,838	5,995	6,596	7,294	7,815	7,190	—

(注1) 斜体は推計値

(注2) ②タイ人出国者数は日帰りを含んでいない

資料: IMF(*1)、JNTO(*2)

⑥米国

2020年の米国人出国者数は1,559万人で、2019年の6,010万人から74.0%の減少となった(表II-1-7)。新型コロナウイルスの影響で大きく出国者数が減少したものの、他の国籍・地域に比べ減少幅はやや小さいことがわかる(表II-1-26)。米国人出国者のうち日本への出国者数は近年増加しており、2018年から2019年にかけては19%増加するなど好調であったが、2020年の訪日米国人旅行者数についてみると、22万人(前年比87.2%減)で、出国者に占める訪日旅行者の比率は1.4%となり、過去15年間で最も低い割合となった(表II-1-26)。

2020年1～3月期における訪日米国人の客層についてみると、平均泊数は15.8泊、観光レジャー比率は50.4%、リピーター率は51.4%、ツアー利用率は7.2%であった(表II-1-24)。2019年のデータに対して、平均泊数はやや長い傾向がみられるが、観光・レジャー比率やリピーター率、ツアー利用率についてはほぼ同じ傾向であった。

2020年1～3月期における訪日米国人1人当たりの旅行支出は208,402円であった(図II-1-14)。

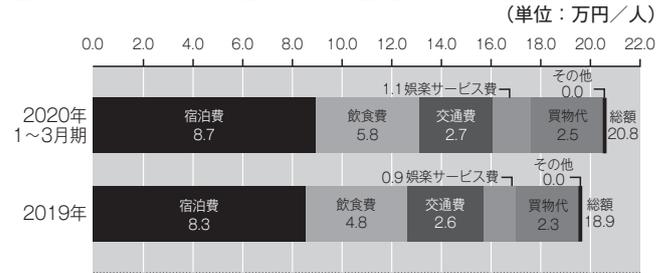
表II-1-24 訪日米国人の旅行動向

	2019年	2020年
訪日米国人旅行者数(万人)	172	22
平均泊数(泊)	12.4	15.8*
観光レジャー比率(%)	52.3	50.4*
リピーター率(%)	48.1	51.4*
ツアー利用率(%)	8.2	7.2*

※2020年1～3月期の値

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-14 訪日米国人の1人当たり旅行支出



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-25 方面別米国人旅行者数

		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	メキシコ(空路のみ)	799.4	15	1位	メキシコ(空路のみ)	893.4	12	1位	メキシコ(空路のみ)	1,007.5	3
2位	カナダ(空路のみ)	363.4	6	2位	カナダ(空路のみ)	451.6	17	2位	カナダ(空路のみ)	459.2	△4
3位	英国	288.5	2	3位	英国	319.7	11	3位	英国	392.7	5
4位	ドミニカ共和国	278.7	3	4位	ドミニカ共和国	270.6	△3	4位	フランス	300.8	14
5位	フランス	236.1	11	5位	イタリア	221.4	9	5位	イタリア	292.4	25
14位	日本	88.5	11	14位	日本	98.4	14	11位	日本	117.0	2

アジア

		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	順位	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	中国	121.3	7	1位	中国	130.0	7	1位	中国	158.7	15
2位	インド	108.2	0	2位	インド	119.5	10	2位	インド	125.3	13
3位	日本	88.5	11	3位	日本	98.4	11	3位	日本	117.0	2
4位	フィリピン	82.0	16	4位	フィリピン	91.4	11	4位	フィリピン	91.9	9
5位	香港	55.7	7	5位	香港	56.2	1	5位	韓国	71.0	32

資料:U.S. Department of Commerce, International Trade Administration, National Travel & Tourism Office

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

表II-1-26 米国基本情報

年	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2024
①人口(万人)*1	29,612	30,973	31,192	31,412	31,627	31,854	32,082	32,310	32,514	32,688	32,846	33,009	33,773
②米国人出国者数(万人)*2	3,837	3,736	3,601	3,787	3,846	4,113	4,464	4,859	5,295	5,643	6,010	1,559	—
③出国率(%) (②÷①)	13.0	12.1	11.5	12.1	12.2	12.9	13.9	15.0	16.3	17.3	18.3	4.7	—
④訪日米国人旅行者数(万人)*3	82.2	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	21.9	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率 (④÷②)	2.1	1.9	1.6	1.9	2.1	2.2	2.3	2.6	2.6	2.7	2.9	1.4	—
⑥為替レート(円/米ドル)*1	110.2	87.8	79.8	79.8	97.7	105.6	121.1	108.7	112.1	110.4	109.0	108.2	—
⑦GDP成長率(%)*1	3.5	2.6	1.6	2.2	1.8	2.5	3.1	1.7	2.3	3.0	2.2	△3.5	—
⑧一人当たりGDP(米ドル)*1	44,026	48,403	49,829	51,563	53,072	55,025	56,849	58,017	60,106	63,056	65,254	63,416	—

(注1) 斜体は推計値

資料:IMF(*1)、U.S. Department of Commerce, International Trade Administration (*2)、JNTO(*3)

(注2) ②米国人出国者数はメキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数値

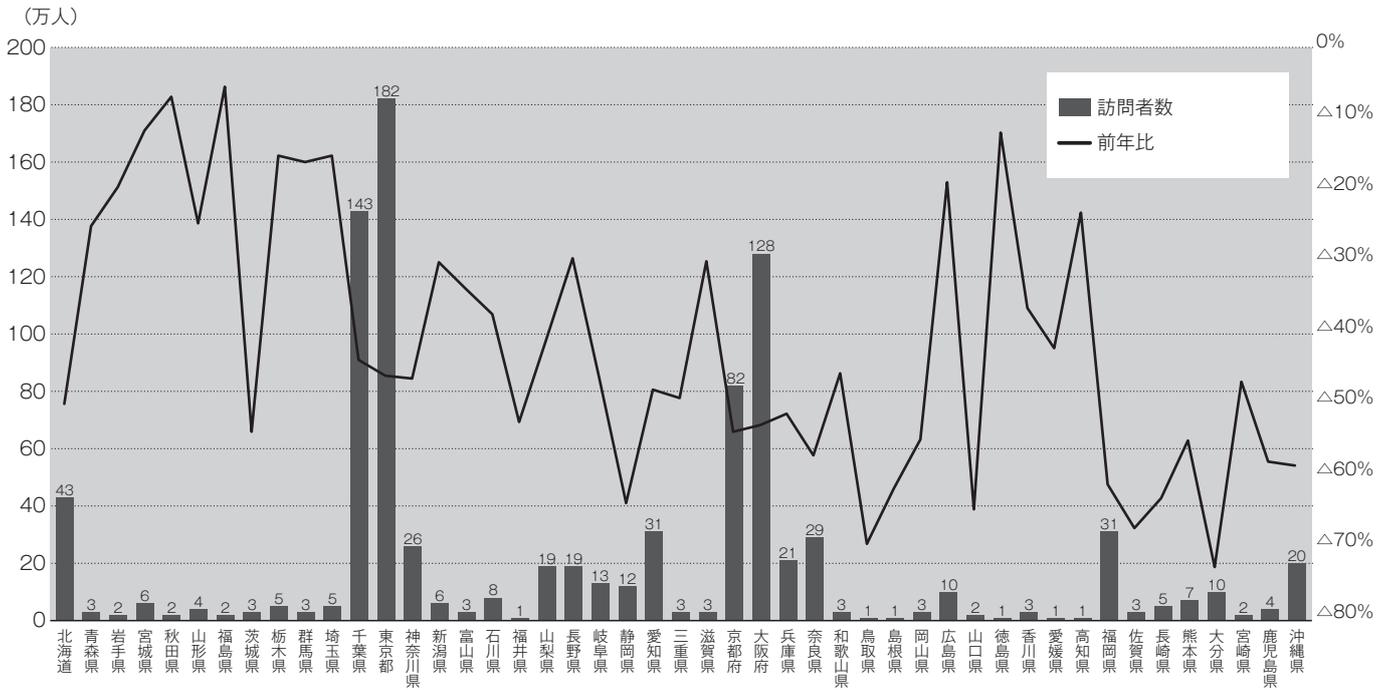
(2) 都道府県別にみる訪日旅行動向

① 訪問者数

2020年1～3月期における訪日外国人の都道府県別訪問者数をみると、東京都(181.6万人)や千葉県(143.4万人)、大阪府(127.7万人)、京都府(82.3万人)で特に多い。次いで、北海道が42.7万人、愛知県が31.1万人、福岡県が30.6万人であった。

都道府県別訪問者数の前年比(2019年1～3月期との比較)をみると、全ての都道府県で減少したが、もともと来訪者数の少ない東北や、中国、四国地方での減少幅が小さくなっている。また、韓国人訪問者数の比率が高い九州地方や山口県などは大きく減少しており、最も減少幅が大きかったのは大分県で、前年比72.9%減であった。

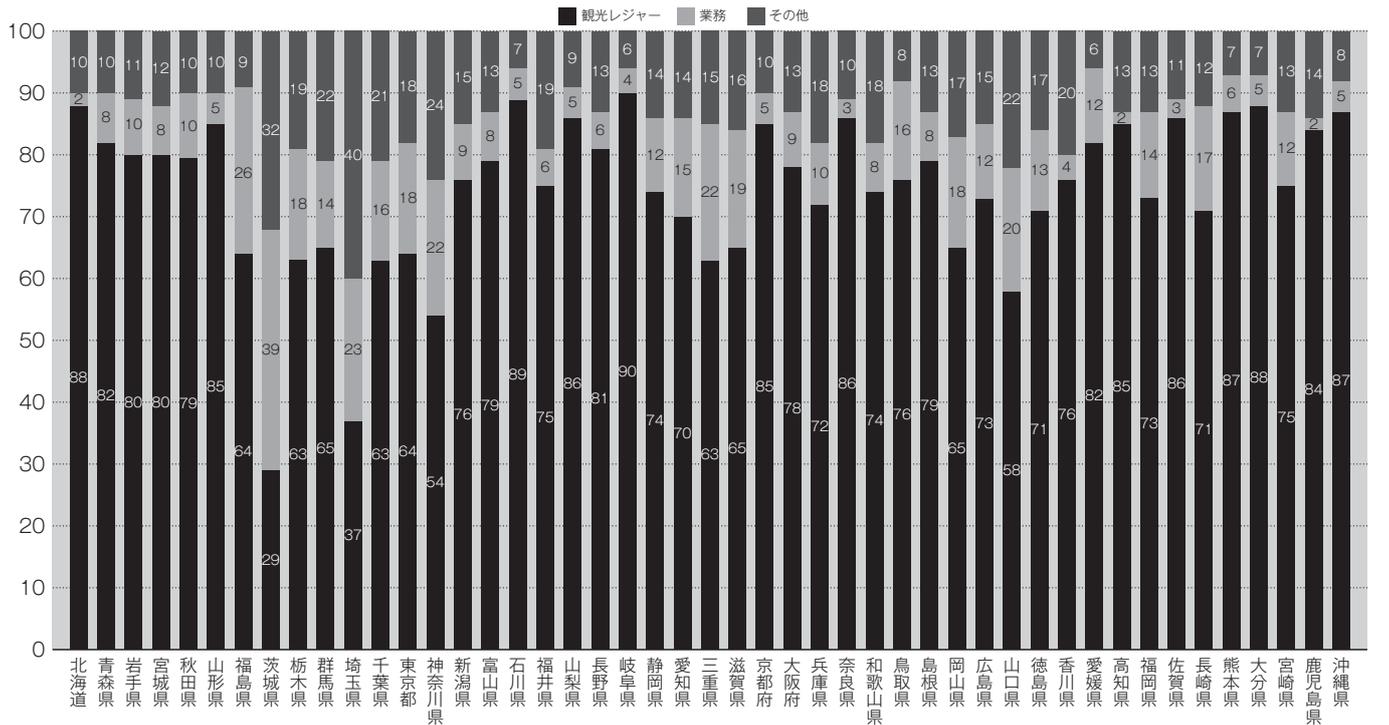
図Ⅱ-1-15 都道府県別訪日外国人訪問者数(2020年1～3月期)



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図Ⅱ-1-16 都道府県別訪日外国人訪問者の主な旅行目的(2020年1～3月期)

(単位:%)



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

②主な旅行目的

2020年1～3月期に各都道府県を訪問した外国人旅行者の主な旅行目的をみると、多くの都道府県で「観光・レジャー」目的客の比率が7～9割を占めている。一方で、茨城県や埼玉県では、「業務」目的や留学などを含む「その他」目的が多く、「観光・レジャー」目的は3～4割程度となっている(図II-1-16)。

③旅行消費額

2020年1～3月期における都道府県別の訪日外国人旅行消費額は、東京都が圧倒的に高く2,097億円、次いで大阪府が1,246億円であった(図II-1-17)。

④国籍・地域比率(訪日外国人観光客)

2020年1～3月期に各都道府県を訪問した外国人旅行者のうち、「観光・レジャー」目的客(以下、訪日外国人観光客)のみに絞って、国籍・地域別比率を示す(図II-1-18)。

東アジアは国籍・地域によって訪問地が大きく異なり、全国

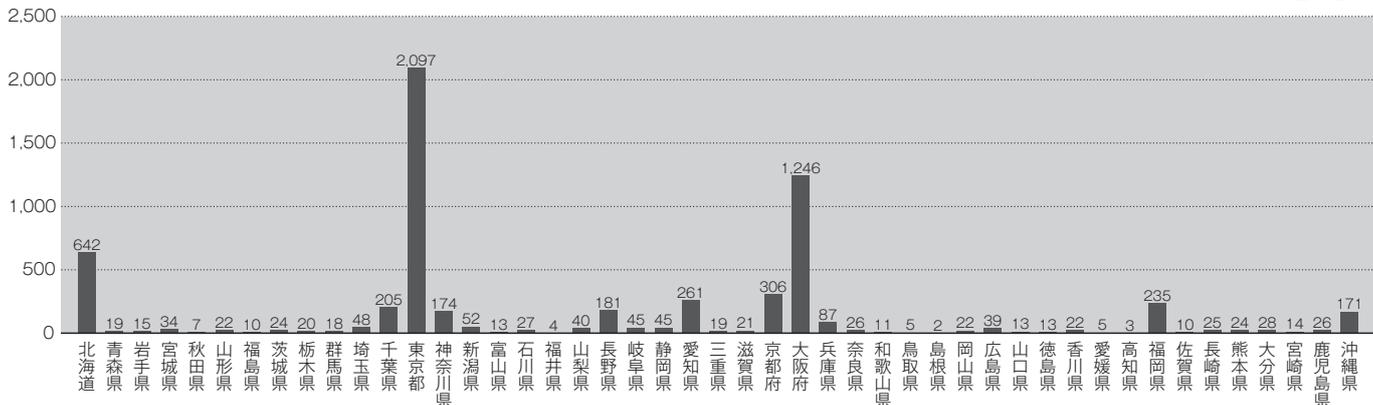
各地に分散している。例えば、九州、山陰地方では韓国人比率が高く、特に福岡県や山口県では約4割、大分県では約3割が韓国人旅行者である。また、東北地方では台湾人比率が高く5～6割を占めている。そのほか、富山県や福井県、沖縄県でも台湾人比率が約4割となっている。香港人比率は、四国地方や九州地方南部で2～3割と高い傾向がみられるほか、和歌山県や鳥取県でも約2割を占めている。中国人比率は近畿圏で高く、特に奈良県、大阪府、京都府、兵庫県では3～5割を占めている。また、愛知県、山梨県、静岡県、北海道でも高い。

東南アジア人比率は、関東地方を中心に高い傾向がみられ、北関東地方や福島県、埼玉県、山梨県、岐阜県、静岡県で2～3割程度を占めている。

欧米豪の比率は有名歴史観光地を抱える栃木県(日光)、石川県(金沢)、広島県(宮島)などで高い。また、1～3月期はスキーシーズンを含むため、スキー場の立地する新潟県や長野県では、特にオーストラリア人比率が高くなっている。

図II-1-17 都道府県別訪日外国人旅行消費額(2020年1～3月期)

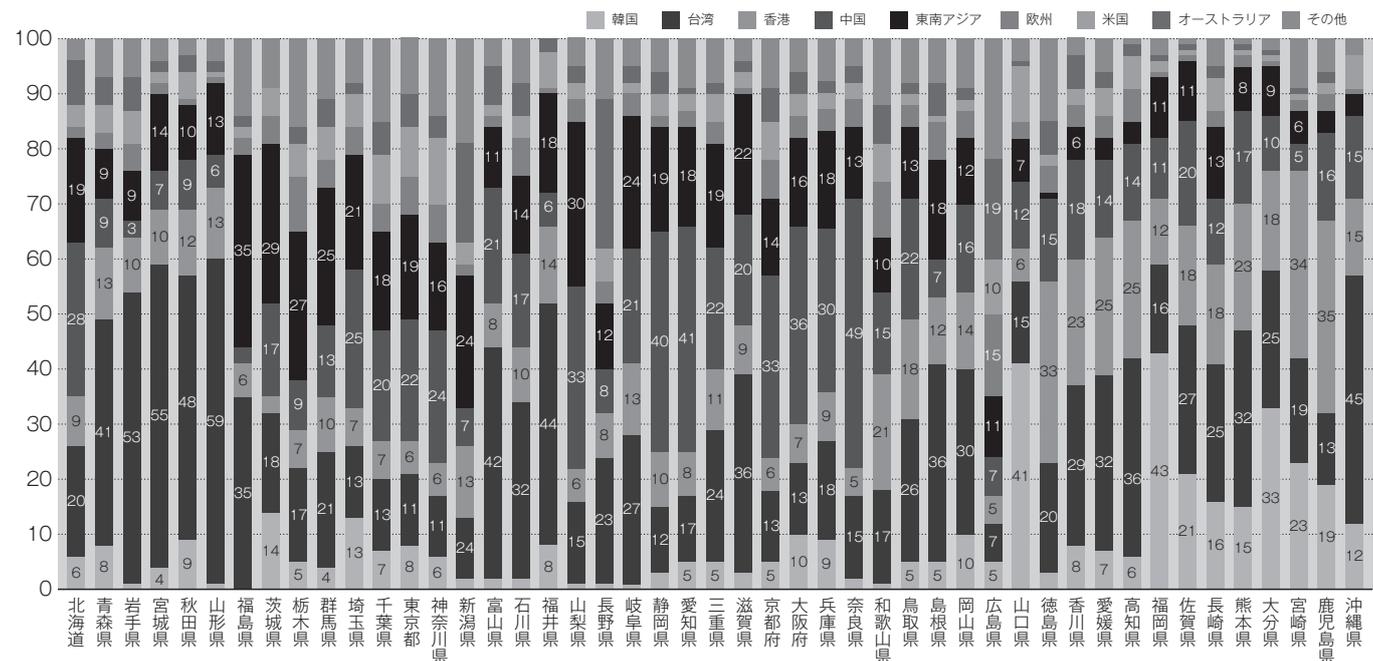
(単位:億円)



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-18 都道府県別 訪日観光客の国籍・地域比率(観光・レジャー目的客・2020年1～3月期)

(単位:%)



(注) 東南アジアはタイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムを、欧州は英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペインを指す。

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

⑤平均泊数と旅行支出(訪日外国人観光客)

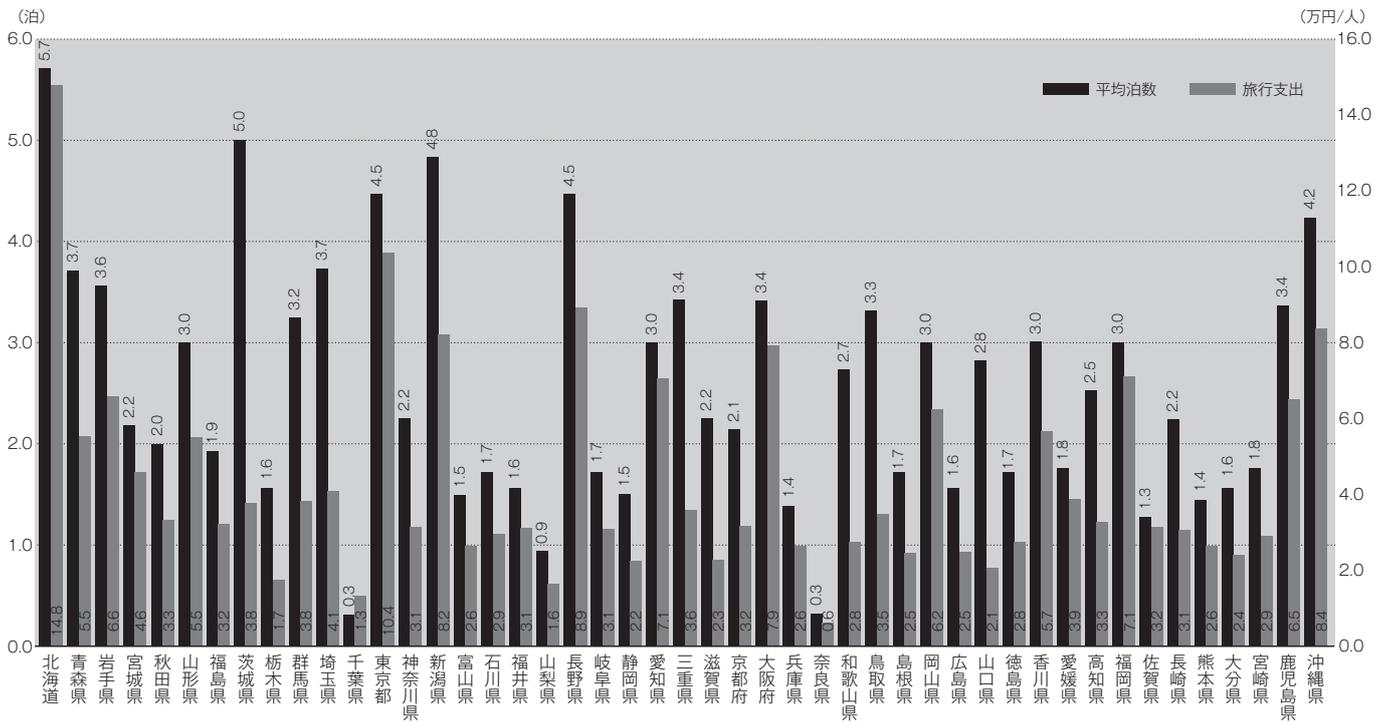
2020年1～3月期に各都道府県を訪問した訪日外国人観光客による、都道府県別の平均泊数と旅行支出(パッケージツアー等参加費の訪問地収入分を含む)をみると、泊数の長さや旅行支出は概ね連動していることがわかる(図II-1-19)。北海道、東京都、長野県、大阪府、沖縄県は、平均泊数が長く、それに伴って旅行支出も多いことがわかる。また、近畿圏からの日帰り客が多いと考えられる奈良県や、成田空港利用者が大半を占める千葉県は、平均泊数も短く、旅行支出も少ない。一方で、茨城県、群馬県、埼玉県や和歌山県、鳥取県、山口県は平均泊数に対して旅行支出が少ないことがわかる。

地域ブロック別に見ると、平均泊数は北海道、東北、関東の順に長い(表II-1-28)。また、1人1回当たりの旅行支出は、北海道が13.1万円、関東が10.9万円、九州が9.4万円となっている。

国籍・地域別に見ると、韓国人は関東、台湾人や香港人は近畿、中国人は九州における平均泊数が長い。また、1人1回あたりの旅行支出では、香港人と中国人の支出が多く、特に九州においては香港人が12.8万円、中国人が19.4万円を支出している。

(工藤 亜稀)

図II-1-19 都道府県別 訪日外国人観光客の平均泊数・旅行支出(2020年1～3月期)



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-28 国籍別地域ブロック別 訪日外国人観光客の平均泊数・旅行中支出(2020年1～3月期)

訪問地	国籍・地域						
	全国籍	韓国	台湾	香港	中国	タイ	米国
北海道	5.7	3.8	5.1	5.6	5.9	5.3	5.9
東北	5.1	—	5.8	—	—	—	—
関東	5.1	5.0	4.3	4.7	4.6	5.3	5.8
北陸信越	4.2	—	3.1	2.9	3.4	1.7	3.4
中部	3.3	—	3.5	3.5	3.7	2.8	2.6
近畿	5.0	3.4	6.4	6.0	4.4	4.4	4.5
中国	2.4	1.5	2.2	1.9	—	—	2.0
四国	4.2	3.0	5.1	4.6	—	—	—
九州	4.8	2.9	4.8	5.4	9.1	—	—
沖縄	4.2	3.4	3.8	—	—	—	—
(以下再掲)							
東京都	4.5	4.4	3.6	4.3	4.0	4.2	5.1
大阪府	2.1	—	2.6	1.4	1.6	1.0	3.1
京都府	3.4	2.5	4.3	4.4	3.1	3.7	2.4

(注1) 訪問地における泊数の平均値である。資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。
 (注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

訪問地	国籍・地域						
	全国籍	韓国	台湾	香港	中国	タイ	米国
北海道	13.1	8.5	9.5	12.7	17.3	12.5	13.3
東北	7.5	—	8.9	—	—	—	—
関東	10.9	8.0	8.5	12.1	16.0	10.6	10.0
北陸信越	7.3	—	4.6	6.8	8.3	2.9	6.9
中部	5.9	—	5.2	6.9	7.8	5.2	3.8
近畿	9.6	5.6	8.0	12.3	12.7	8.4	6.7
中国	3.5	1.6	4.6	4.6	—	—	2.8
四国	7.0	4.3	7.3	8.5	—	—	—
九州	9.4	6.2	8.9	12.8	19.4	—	—
沖縄	7.8	5.1	7.0	—	—	—	—
(以下再掲)							
東京都	9.9	6.8	7.4	11.1	14.5	9.1	9.6
大阪府	7.6	4.6	5.6	9.5	10.7	7.1	3.8
京都府	3.0	—	3.0	3.0	2.4	1.8	4.5

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」
 (注1) 訪問地における1人当たり旅行中支出の平均値である。パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金などの滞在費は含まない。
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。
 (注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

3 世界の国際観光動向

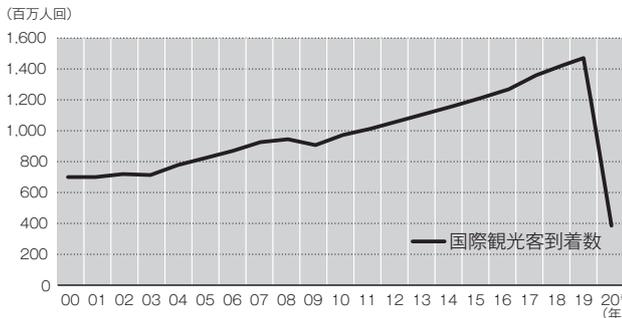
世界の国際観光客到着数は前年から約10億人減
2000年代の世界の観光市場をけん引してきた
アジア太平洋地域が大幅減

(1) インバウンド(到着地側)の動向

●国際観光客到着数

世界観光機関(UNWTO)の最新データ(2021年8月時点)によると、2020年における国際観光客到着数(International Tourist Arrivals)は前年から約10億人減の3.99億人回(前年比72.8%減)となった。(表II-1-29)。SARS、リーマン・ショック(2008年)後の一時的な減少を除き増加基調が続いてきたが、2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により渡航規制等が相次ぎ、大幅な減少となった(図II-1-20)。

図II-1-20 国際観光客到着数の推移



データ出所: UNWTO International「Tourism Highlights」/「World Tourism Barometer」
※2020年は暫定値

国際観光客到着数を到着地域別にみると、2020年の国際観光客到着数は全ての地域において対前年6割超の減少となった(表II-1-29)。減少幅が最大の地域は2000年代に入り最も市場が拡大したアジア太平洋地域であり、なかでも日本を含む北東アジア地域が前年比88.1%減と落ち込みが最も大きかった。

2020年の国際観光客到着数については本稿執筆時点(2021年8月)で公表されていない国・地域が複数あるため表II-1-30では2019年の順位を掲載している。

いずれの国・地域でも大幅減となっているが、中でもアジアの国・地域の落ち込み幅が欧米地域と比べて大きく、到着数との開きが顕著となった。

表II-1-29 世界の国際観光客到着数(到着地域別)

	到着地域別 国際観光客到着数 (百万人回)								シェア (%)	前年比 (%)	
	2000	2005	2010	2015	2017	2018	2019	2020*		2020*	19/18
世界全体	680	809	956	1,197	1,332	1,413	1,466	399	100.0	3.8	△72.8
到着地域	ヨーロッパ	392.9	452.9	491.2	606.6	676.6	716.0	746.3	235.9	59.1	△68.4
	アジア太平洋	110.4	154.1	208.2	284.6	323.3	346.5	360.4	56.9	14.3	△84.2
	北東アジア	58.4	85.9	111.5	142.1	159.5	169.2	170.3	20.2	5.1	△88.1
	東南アジア	36.3	49.0	70.5	104.2	120.6	128.6	138.6	25.5	6.4	△81.6
	オセアニア	9.6	10.9	11.5	14.3	16.6	17.0	17.5	3.6	0.9	△79.4
	南アジア	6.1	8.3	14.7	24.0	26.7	31.7	34.0	7.6	1.9	△77.6
	アメリカ	128.2	133.3	150.3	194.0	210.8	216.0	219.3	69.9	17.5	△68.1
アフリカ	26.2	34.8	50.4	53.9	63.3	68.7	70.1	18.1	4.5	△74.2	
中東	22.4	34.0	56.1	58.3	57.6	65.5	70.0	18.2	4.6	△74.0	

※2020年は暫定値

資料: UNWTO「World Tourism Barometer」

表II-1-30 国際観光客到着数ランキング(到着国・地域別)

2019 順位	到着国・ 地域	到着国・地域別 国際観光客到着数 (百万人回)				前年比(%)		調査 方法	到着 数
		2010	2018	2019	2020*	19/18	20*/19		
1位	フランス	77.6	89.4	-	-	-	-	TCE	
2位	スペイン	52.7	82.8	83.5	19.0	0.8	△77.3	TF	
3位	米国	60.0	79.7	79.4	19.4	△0.4	△75.5	TF	
4位	中国	55.7	62.9	65.7	-	4.5	-	TF	
5位	イタリア	43.6	61.6	64.5	25.2	4.8	△61.0	TF	
6位	トルコ	31.4	45.8	51.2	15.9	11.9	△69.0	TF	
7位	メキシコ	23.3	41.3	45.0	24.3	9.0	△46.0	TF	
8位	タイ	15.9	38.2	39.9	6.7	4.4	△83.2	TF	
9位	ドイツ	26.9	38.9	39.6	12.4	1.8	△68.5	TCE	
10位	英国	28.9	38.7	39.4	-	1.9	-	VF	

(11位以下の主な北東アジアの国・地域)

12位	日本	8.6	31.2	31.9	4.1	2.2	△87.1	VF
17位	香港	20.1	29.3	23.8	1.4	△18.8	△94.3	TF
26位	韓国	8.8	15.3	17.5	2.5	14.0	△85.6	VF
36位	台湾	5.6	11.1	11.9	1.4	7.2	△88.4	VF

※2020年は暫定値

資料: UNWTO「World Tourism Barometer」

TF: 国境での調査(日帰りを除く)

VF: 国境での調査(日帰りを含む)

TCE: 宿泊施設(非営利含む)での調査

●国際観光収入

2020年の国際観光収入(International Tourism Receipts)は、世界全体でおよそ5,350億USドル(前年比63.7%減)と推計される(表II-1-31)。到着地域別にみると、国際観光客到着数の落ち込みがアジア太平洋地域前年比70.2%減と収入も大きく減少した。

2020年の国際観光収入を到着国・地域別にみると、減少幅の大きかったアジア太平洋地域では特に香港と台湾の落ち込みが顕著だった(表II-1-32)。欧州についてはばらつきが大きく、2019年は2位だったスペインは対前年比で77.3%減と大きく落ち込んだ一方で、3位だったフランス(同49.7%減)や9位だったドイツ(同48.2%減)は減少幅は比較的小さかった。

表II-1-31 世界の国際観光収入(到着地域別)

	到着地域別国際観光収入 (10億USドル)							シェア (%)	前年比 (現地通貨基準) (%)		到着地域別 国際観光客 到着数 (百万人回)	1人当たり 国際観光 収入(USド ル/人回)
	2010	2016	2017	2018	2019	2020*	2020*		19/18	20*/19		
												2020*
世界全体	980	1,254	1,347	1,460	1,465	535	100.0	3.0	△63.7	399	1,340	
到着地域	ヨーロッパ	427.5	472.7	520.1	572.4	571.8	233.4	43.6	4.3	△59.7	236	990
	アジア太平洋	254.3	371.0	391.9	436.5	441.3	132.5	24.8	1.0	△70.2	57	2,330
	北東アジア	122.9	169.1	168.5	193.3	187.2	48.9	9.2	△3.6	△74.3	20	2,420
	東南アジア	68.5	117.0	126.1	138.4	146.9	32.0	6.0	3.8	△78.1	26	1,250
	オセアニア	42.8	51.7	57.4	61.1	61.6	33.3	6.2	5.6	△45.9	4	9,250
	南アジア	20.1	33.3	39.9	43.7	45.6	18.2	3.4	6.2	△60.4	8	2,390
	アメリカ	215.2	319.2	330.0	338.2	322.8	126.6	23.7	△0.6	△60.4	70	1,810
	アフリカ	30.4	32.2	36.5	38.9	38.9	14.0	2.6	2.2	△63.6	18	780
	中東	52.2	58.8	68.5	74.5	90.5	28.4	5.3	19.7	△68.9	18	1,560

*2020年は暫定値

資料: UNWTO「World Tourism Barometer」

(2)アウトバウンド(出発地側)の動向

次に、出発国・地域別に世界の国際観光動向を概観する。国際観光支出(International Tourism Expenditure)を出発国・地域別にみると、前年まで1位を維持してきた中国が2020年も存在感を示した(表II-1-33)。

北東アジア地域は、中国と韓国はマイナス幅は比較的小かったが、香港、日本、台湾の国際観光支出は大幅に減少した。(相澤 美穂子)

表II-1-32 国際観光収入ランキング(到着国・地域別)

2019 順位	到着国・ 地域	到着国・地域別 国際観光収入 (10億USドル)			前年比 (現地通貨 基準) (%)	国際 観光客 到着数 (百万人 回)	1人回 当たり 国際観光 収入 (USドル/ 人回)
		2010	2019	2020*			
1位	米国	137.0	193.3	76.1	△60.6	19.4	3,924
2位	スペイン	58.8	79.7	18.5	△77.3	19.0	972
3位	フランス	57.1	63.5	32.6	△49.7	-	-
4位	タイ	20.1	59.8	14.2	△76.2	6.7	2,119
5位	英国	35.2	52.7	18.9	△64.2	12.4	1,527
6位	イタリア	38.8	49.6	19.8	△60.9	25.2	786
7位	日本	13.2	46.1	10.7	△77.2	4.1	2,610
8位	オーストラリア	32.6	45.7	25.8	△42.9	1.8	14,345
9位	ドイツ	34.7	41.8	22.1	△48.2	12.4	1,781
10位	マカオ	22.3	40.1	8.6	△78.6	2.8	3,088

(11位以下の主な北東アジアの国・地域)

11位	中国	45.8	35.8	14.2	△60.2	-	-
15位	香港	22.2	28.9	2.8	△90.3	1.4	2,030
19位	韓国	10.3	20.9	10.5	△49.5	2.5	4,211
28位	台湾	8.7	14.4	1.8	△87.2	1.4	1,319

*2020年は暫定値

資料: UNWTO「World Tourism Barometer」

(注)1人当たり国際観光収入は(公財)日本交通公社算出

表II-1-33 国際観光支出ランキング(出発国・地域別)

2019 順位	出発国・地域	国際観光支出			前年比 (現地通貨基準) (%)	
		2010	2019	2020*	19/18	20*/19
1位	中国	54.9	254.6	130.5	△4.2	△48.7
2位	米国	86.6	134.6	39.3	6.8	△70.8
3位	ドイツ	78.1	93.2	38.9	2.9	△59.1
4位	英国	60.7	71.9	21.7	6.0	△70.0
5位	フランス	38.5	50.5	27.8	7.6	△46.1
6位	ロシア	26.7	36.2	9.1	5.5	△74.7
7位	オーストラリア	26.6	36.0	6.8	4.6	△81.0
8位	カナダ	30.0	35.8	12.1	6.1	△65.9
9位	韓国	18.8	32.7	16.2	△6.8	△50.6
10位	イタリア	27.1	30.3	10.9	6.3	△64.7

(11位以下の主な北東アジアの国・地域)

13位	香港	17.4	26.9	5.3	1.6	△80.3
16位	日本	27.9	21.3	5.5	3.8	△74.7
17位	台湾	9.4	20.5	3.2	5.5	△84.6

*2020年は暫定値

資料: UNWTO「World Tourism Barometer」